

せいけん
詩集

第四十篇

作：近藤せいけん

「湖底の村」

山 深き 湖

宮ヶ瀬湖の岸边

わかさぎ釣りの釣り人

静かなたたずまい

振り返れば あの頃

湖底に沈んだ 家 学校 道

遠いいはるかなる記憶

幼く遊んだ日々

なつかしい 村

なつかしい 友

なつかしい あの頃 今は還らず

湖にさざなみ よせて

若人の澄んだ歌声 湖上に響く

宮ヶ瀬湖の岸边を 歩く

山 深く 静かなる地

振り返れば あの頃

湖底に沈んだ幼き日の記憶

はるかなる ふるさとの村

なつかしい父 母

なつかしい 友との語らい

なつかしい あの頃 今は還らず